

ほほえみ

がん
特集④8

切らずに治す前立腺癌
～密封小線源治療(開始準備中)～

泌尿器科准教授 黒田 功

最新医療を知ろう

最新CTが心臓検査に与える
インパクトと将来性について

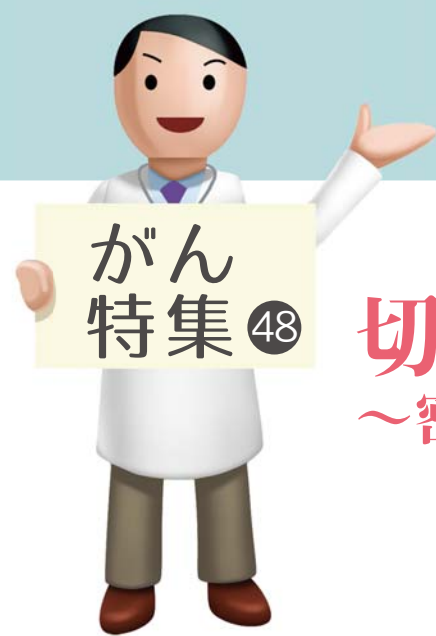
- 職場探訪
～緩和医療部 編～
- トピックス
・ 新型コロナウイルス感染症対策に
かかる寄附について
- 医療連携紹介
- 病院からのお知らせ

東京医科大学茨城医療センター

<http://ksm.tokyo-med.ac.jp/>

発行日：2020年7月1日
発行人：病院長 小林 正貴
発行所：東京医科大学茨城医療センター

〒300-0395 茨城県稲敷郡阿見町中央3-20-1 TEL029-887-1161 (代)



地域がん診療連携拠点病院より、がんの情報をお届けします。
当センターは平成19年1月31日付けで厚生労働大臣より、「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。地域におけるがん診療の中心的役割を担う病院として、がん診療に精通した医師、専門看護師が地域医療機関と連携し、地域住民の皆様に質の高いがん診療、情報を提供して参ります。

がん特集 48

切らずに治す前立腺癌 ～密封小線源治療(開始準備中)～



がん治療認定医指導責任者
泌尿器科准教授

くろだ いさお
黒田 功

日本泌尿器科学会指導医

切っても切らなくても成績が変わらない早期前立腺癌

早期前立腺癌に対する治療(手術・放射線)により尿失禁、排尿障害や直腸障害などの合併症が問題となっているほか、過剰診療の可能性も示唆されています。

そこで監視療法と手術、放射線療法の比較を目的とし1999～2009年に英国において臨床試験が行われました。その結果、監視療法においては結果的に病勢が進行し約20%治療が必要でさらに10年後の前立腺がん特異的死亡率はいずれも差は認められませんでした。

つまり早期前立腺癌の20%には何らかの治療が必要で、切っても(手術)切らなくても(放射

線)治療成績が変わらないことが判りました。

密封小線源治療(ブラキセラピー)

密封小線源治療は前立腺内部に小線源を挿入し照射を行う方法です。図1のように下半身麻酔をかけたうえで会陰部から通常50～100個程度の小線源を挿入します。外照射にくらべ内部から照射するため、前立腺とその周囲への限局した照射が可能で、前立腺に照射する線量を高くしても直腸や膀胱などの周囲臓器への線量を低く保つことができます。また、性機能も比較的温存することができます。治療自体も短期間で済み、身体に対する影響も少ないという長所もあります。

使用する線源

小線源治療で使用される線源は、長さ約5mm、直径約1mmのチタンのカプセルの中にヨウ素-125が密封されているものです(図2)。半減期は約2ヶ月で、1年後には放射線量はゼロと考えて支障ありません。

適応

小線源治療の最もよい適応は、前立腺内に限局した癌です。癌の広がりや転移以外にも次のような場合には慎重に適応を検討します。

- 前立腺が大きい場合
- 前立腺肥大症の手術歴がある場合
- 前立腺が変形・石灰化が著しい場合

図1

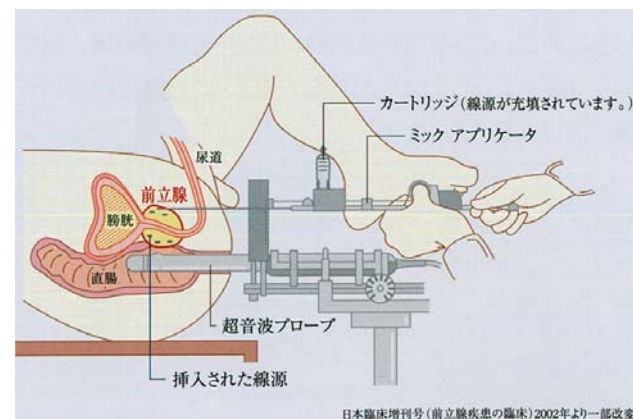
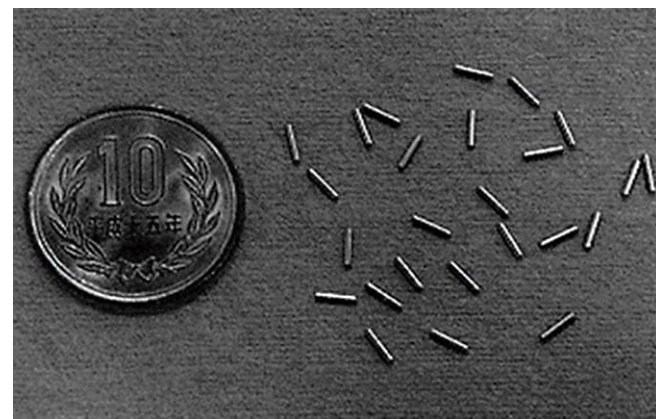


図2



●治療の体位が取れないなど

外部照射の併用

MRIで前立腺の周囲に癌が広がっている可能性がある場合や悪性度が高い場合、外部照射を併用します。外照射は小線源治療後1～2ヶ月経過した時点から開始し、20～25回に分割して照射するため、週5回として約5週間かかります。

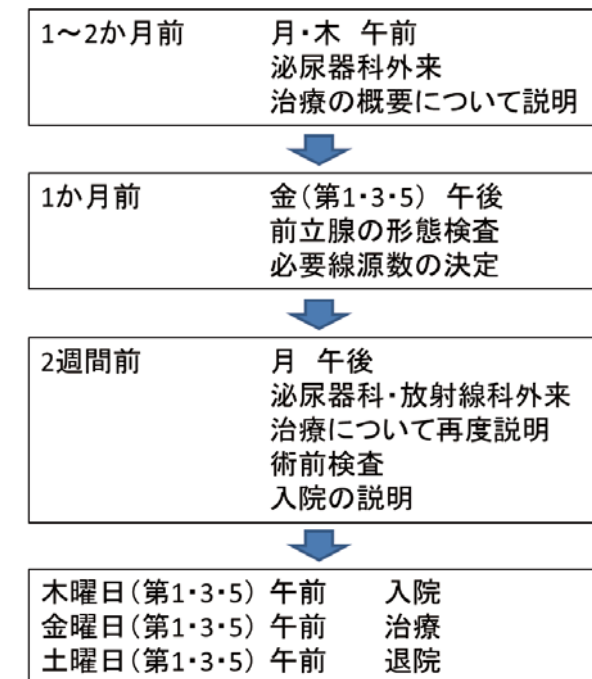
ホルモン療法の併用

非常に大きな前立腺の場合、縮小目的に小線源治療前に施行します。また高リスク群の患者さんに対しては治療効果を高める目的で、治療前後にホルモン療法を施行しながら、外部照射を併用した小線源治療を行います。

治療成績

手術療法と比べ再発の定義などの問題もあり比較することは

図3



不可能ですが、低～中間リスク群についてはほぼ同等、高リスク群においてはホルモン療法併用ではありますが、手術と同等以上の成績であるとされています。

有害事象

排尿症状(頻尿、尿意切迫感、排尿困難、排尿時痛など)が主に出現します。また排便回数の増加、排便時に肛門痛などを生じることがあります。勃起機能は温存できても、放射線治療により精液は出ません。

費用

本治療は健康保険の適応です。また、法令により本治療後は個室での療養が定められており、個室料金の支払が別途必要です。

治療スケジュール(図3)

診察日・治療日などの変更はできません。治療に使用する線源は、エネルギーが徐々に減衰してゆく、いわば“生もの”

で常備できません。そのため、治療キャンセル時には、他の患者さんへ使用することもできません。従って患者さんの事情により治療キャンセルの場合、自費(約50-80万円)で負担していただきます。

この治療で特に重要なこと

- 排尿時にシードが排出された場合、直接触れないようにシードを容器に移して医療機関に持参してください。
- 1年以内に死亡時、解剖により前立腺ごと線源を取り出す必要があります。
- シード線源は生ものです。治療キャンセルの場合は自費で負担になります。
- 医療チームのチームワークだけでなく、患者さん並びにご家族のご理解ご協力がないと実施できない治療です。

現在、小線源治療開始準備中です。ご不明な点などは泌尿器科月・木曜日の外来予約のうえ受診・相談ください。



チーム一丸となって前立腺癌治療にあたっています
(左から看護師、放射線技師、放射線治療医、泌尿器科医)

職場探訪



専門的な「緩和ケア」を提供するために

2007年に制定された「がん対策推進基本計画」において、緩和ケアに重点が置かれるようになってから10年以上が経過しました。年月を経て、緩和ケアのあり方は少しずつ周知されてきたと思います。緩和ケアとは、終末期のみならず、がんと診断された時から、がん患者及びその家族の苦痛やつらさを緩和していくことが目的です。苦痛やつらさは、痛みなどの身体的苦痛だけでなく、精神的、社会的、スピリチュアルな苦痛といった様々な苦痛（全人的苦痛）に及びます。基本的な緩和ケアの知識については、医療者の間にも、かなり普及しました。それでも、がん患者の苦痛やつらさは多種多様であり、専門的な緩和ケアを提供できる体制が必要です。

当センターには緩和ケア病棟がないため、入院患者に対しては、多職種から構成される緩和ケアチームによるコンサルテーション診療、外来では緩和ケア専門外来による診療を行なっています。

緩和ケアチームは、医師3名（内科・精神科）、専従看護師1名、薬剤師1名、ソー

緩和医療部のご紹介



シャルワーカー1名、栄養士1名を中心に多職種で構成されています。がん診療に携わる診療科と協力しながら、複雑な症状緩和や終末期の諸問題などに対応しています。昨年度は年間63件のご依頼をいただきました。今後も、チームが一丸となって、より質の高い緩和ケアを提供できるように努力したいと思います。



TOPICS -トピックス-

新型コロナウイルス感染症対策にかかる寄附について

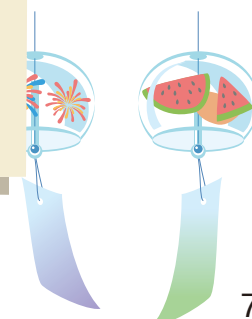
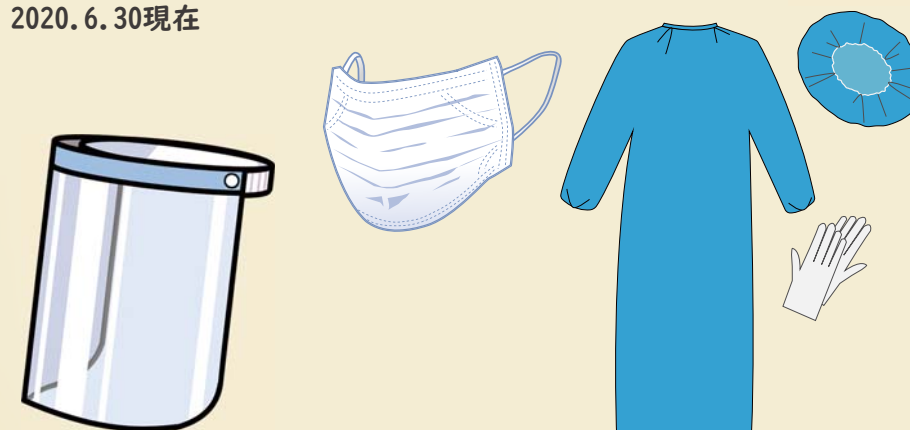
当センターにおける新型コロナウイルス感染症対策に対し、下記の方々より心温まる寄附をいただきました。心から感謝しお礼申し上げます。

ご寄附いただいたマスク等は、有効に活用させていただきます。誠にありがとうございました。

●寄贈者・寄贈団体

匿名(団体) 飲食物等
匿名(団体) 飲食物等
茨城県看護連盟 マスク、N95マスク、防護服他
匿名(個人) N95マスク
(株)MCエバテック N95マスク
霞ヶ浦成人病研究事業団 N95マスク
株式会社 坂東太郎 飲食物等
コムネット株式会社 フェイスシールド
和気ペインクリニック フェイスシールド等
匿名(団体) マスク
匿名(団体) マスク
SAVER EATS茨城 飲食物等
株式会社 伊藤園 飲食物等
茨城中央ほしいも協同組合 飲食物等
株式会社アイエス 代表取締役 入江健吾 N95マスク
ネスレ日本株式会社ネスレヘルスサイエンスカンパニー 飲食物等
株式会社 大塚製薬工場 飲食物等
阿見町 サージカルマスク等
茨城県医師会 支援寄付金

2020.6.30現在





医療連携紹介

当院との医療連携登録医療機関を紹介するコーナーです。
第57回目は、えのもと皮膚科(牛久市)をご紹介します。

えのもと皮膚科

皮膚科、アレルギー科、美容皮膚科

牛久市ひたち野東2-12-6 TEL 029-871-1000
FAX 029-871-1012



院長
えのもと ひさこ
榎本 久子

ひたち野うしく駅東口近くに平成29年に開業しました。

皮膚科全般を主に、アレルギー診療やアザのレーザー治療、美容皮膚科などおこなっています。

できるだけ丁寧な診療、説明、治療を心がけて地域医療に貢献できるように頑張っています。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

診療
時間

9:00~12:00

14:00~17:30

土曜 9:00~12:00のみ

休診日 水曜日、日曜日、祝日



病院からのお知らせ

◆新型コロナウイルス感染対策としての面会制限について

当院では地域での感染症の増加を受け、全面的に面会を禁止とさせていただきます。病院から許可のある方のみの面会とさせていただきます。衣類の交換などの場合は、手指消毒・マスク着用の上でナースステーションでの受け渡しのみとさせていただきます。患者様を守るための対策です。ご理解とご協力をお願い致します。

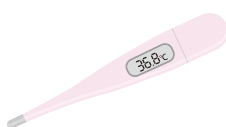
◆発熱患者様の受診について

新型コロナウイルス感染症の疑いのある発熱患者様は、最寄りの保健所の帰国者接触者相談センターへ確認してください。

他の症状での発熱患者様は、必ず事前に電話連絡をしてから来院するようにお願いします。事前連絡もなく直接来院された場合は、受診が出来ない場合があります。

患者様、ご家族様、来院される方の健康を守るためですので、是非ご協力をお願いします。

- ・竜ヶ崎保健所：0297-62-2161
- ・土浦保健所：029-821-5342
- ・つくば保健所：029-851-9287



◆マスク着用のお願い

病院敷地内、特に病院施設内に入る場合は、必ずマスクの着用をお願いします。

患者様、ご家族様、来院される方の健康を守るためですので、是非ご協力をお願いします。

マスク着用にご協力ください

